

職務経歴書

職務経歴

韓国在住時には、ディスプレイ関係会社の生産職にて2年間、セキュリティ会社の警備要員として3年間、その他卸売会社の管理販売部で2年ほど勤務していました。その後は国家公務員資格試験の準備を進めていたのですが、結婚と配偶者(妻)の転勤をきっかけに来日し現在は東京在住です。日本ではゲストハウスと飲食店でパートタイムで働きました。

学習内容・技術スタック

転職を希望しているIT業界の職務経歴がないため、転職準備期間での学習内容と技術スタックに関する記述にて職務経歴書を作成させていただきたいと思います。

プログラミング経験は1年になります。2021年5月、プログラミング教育機関である42Tokyoの4週間の入学試験過程に志願するところからプログラミングの勉強を始めました。42Tokyoは教師も教材もなく、同僚学習基盤で課題を解決していく課程でした。初心者でしたがあえて過酷な環境に身を投じてみたいと志願しました。独学と検索で、また様々な経歴と能力を有した同僚とのコミュニケーションを通じて、Linux 命令語を皮切りにGitを学び、C言語基盤で一つの個人課題とチーム課題を解いていきました。一か月間1日に10時間以上勉強しました。自分の人生で過去にそこまで集中し、脳みそが疲弊するほど努力を費やしたひと月はありませんでした。結果としては残念ながら不合格でした。課程自体が(初心者からすると)厳しいもので苦しさも感じた取り組みでしたが、結果的には開発業務に関する多くのことを感じることができる貴重な時間になりました。

その後、再度独学でC言語から勉強し始めました。Unmanaged言語であるC言語を学びながら基礎的なCPUとメモリの構造、Assembly、Compiler、Pointerの概念など、Low-levelでの動作原理を勉強しました。難しい概念でしたがコンピュータの動作原理という普段から気になっていた内容でもあったのでここは勉強しておけてよかったと思いました。その後CLIで動作するLinked-Listで実装した簡単な映画評点管理プログラムなどを作りました。その後、Webプログラミングを始めました。HTML、CSSからはじめ、ネットワーク、JavaScriptを勉強し、その後React、NodeJS、Postgresqlを利用しRESTful API基盤の簡単なサイトを作りました。本当に簡単なサイトですが、その過程でAPIを処理しロジックを組むバックエンドに魅力を感じました。現在はWebバックエンドプログラマーになりたいと思っています。

最近ではPythonを学び、オブジェクト指向プログラミングの基礎を理解し、Numpy、OpenCV、TKinter、Pygame等のPackageを用いた経験もあります。これからは職務に関わるWEBプログラミングと共にCS知識とデータ構造やアルゴリズムなどをもっと勉強していきたいと思っています。